

仕様書

1. 件名

国際エネルギー使用合理化等対策事業

国際エネルギー使用効率化等協力基礎事業

インド共和国における繊維産業に係る省エネルギー・環境対策に関する基礎調査

2. 目的

インドの近年の繊維生産量は、ジュート（世界1位）、綿花（世界3位）、生糸（世界2位）、羊毛（世界9位）、合成繊維（世界4位）と、世界有数の繊維生産国となっている。また紡績、編織物、染色加工、縫製という一連の産業構造において、関連産業までを含めると約 8200 万人を雇用する一大産業であり、また繊維製品の輸出額は約 150 億米ドル（2006 年度）と、総輸出額に占める割合は 16%と、重要な輸出産業でもある。

一方で紡績を除き中小規模の企業が多く、その生産性は低く、省エネ・環境対策面でも不十分な工場が多い。

このような認識の下、インド繊維産業の代表的工場の省エネ・環境対策の現状を調査し、将来において導入が可能な技術や設備を抽出し、省エネルギーや環境負荷低減の可能性について整理・報告することで、タイやインドネシアで実施済みの「省エネ・節水型繊維染色加工モデル事業」の横展開や、新たな省エネモデル事業の案件発掘に資する。

3. 内容

繊維産業における川上工程(紡績)、川中(織物製造、編物製造、染色仕上加工)、川下工程(縫製)の内、相対的に省エネルギー・環境対策による効果が大きいと考えられる工程(複数可)の代表的工場を NEDO と協議の上で決定。

対象工場の設備や運転状況を調査し、使用しているエネルギーの種類と量、環境負荷の状況などを整理し、改善のために必要な本邦技術や設備の例を挙げ、省エネルギーや環境負荷低減のポテンシャルを示す。これらの結果より、タイやインドネシアで実施済みの「省エネ・節水型繊維染色加工モデル事業」の横展開や、その他、将来の新規モデル事業実施の可能性を検討しその効果を試算する。

但し、上述の調査は、対象企業・工場に対する事前アンケート調査、訪問聞き取りと設備運転状況視察等によるものとし、実測は行なわない

以上の報告書を作成し、NEDO が主催するインド政府（繊維省）、関連業界団体、調査対象企業等への報告会に於いてこれを報告するとともに、NEDO が来年 2 月に開催を検討中の日印エネルギーフォーラムにおいても同様の発表を行う。

(但し、日印エネルギーフォーラムでの発表のための渡航費等は、別途 NEDO から支払うものとし、当該事業の費用へは積算しない)

4. 調査期間

NEDO が指定する日から平成 22 年 3 月 19 日（金）まで

5. 予算額

2,000 万円以内

6. 報告書

形 式：文書形式（PDF 及び Word）及びプレゼン形式（Power Point）

テキスト形式（文書形式の内、概要に当たる部分のみ）

注意点：出典を明記するとともに重要なものは原文を日本語訳の上、参考資料として添付すること。

Web 上で最新情報が取得可能なものは、出典と併せて URL を明記すること。

図表を活用すること（使用したデータテーブルは別途 Excel にて提出）。

図表はできる限り箇条書きとすること。

報告書は文書形式、プレゼン形式、テキスト形式とも、日本語、英語により作成すること。

本調査を通じて入手したデータその他の原本について、NEDO の提出要請があった場合は、必要に応じて日本語、英語に翻訳の上、速やかに提出すること。

提出部数：電子媒体 CD-R 1 部

提出期限：平成 22 年 3 月 19 日（金）

以 上